



*The Faculty of
Health Science Technology*

このセミナーは本学の**就職活動**を支援してくださる施設の現職者対象の短期集中講座です

会場 ; 文京学院大学 ふじみ野キャンパス(東武東上線ふじみ野駅よりバス10分)

日程 ; 8月1日(木)~8月3日(土) 各日 9:20~16:40

対象 ; 年度内に求人票を提示して頂ける施設・本学卒業生の勤務施設の方

コース ; Aコース ・ Bコース

料金 ; 無料 (8月1日昼休みに懇親会を開催します。

懇親会参加の先生は、会費3,000円を徴収させていただきます)

申込締切 ; 7月13日(金)

申込方法(E-mail) ; summer.seminar.pt@gmail.com

件名に、氏名・所属施設名、本文に、氏名・所属施設名・職種・経験年数・希望コース・希望日・懇親会参加有無(8月1日参加の先生のみ)を明記の上、メールにてお申込みください。

文京学院大学 保健医療技術学部 理学療法学科

担当 ; 加藤 太郎 ・ 大川 孝浩

TEL ; 049-261-7973

講義日程等の詳細は
裏面に記載されています。

可能であれば、病院
のパンフレットをご
持参ください



2013/8/1 (木曜日)

A コース

B コース

	教員名	テーマ	内容	教員名	テーマ	内容
9:20-10:50	加藤 太郎	急性期理学療法のリスク管理 —呼吸と循環動態管理—	急性期理学療法では、患者の病態を把握し、適切な時期に適切なアプローチが求められます。リスクの高い急性期患者の呼吸・循環動態の把握に必要な知識や評価等をEBMも紹介しながら、お話しさせていただきます。	上田 泰久	頸椎疾患に対する理学療法	理学療法士が外来で対応することが多い頸椎疾患について説明します。 頸椎疾患の随伴症状である頸部痛・頭痛・上肢痛に対する評価と治療について講義と実技を中心に行います。
11:00-12:30	樋口 桂	人体解剖学 (人体の成り立ち)	人体解剖学一般の講義内容で、特に人体構造の成り立ちを総論的にまとめます。基本的には学生のころに学んだものの振り返りですが、先生方がプロフェッショナルになってから改めて学生のころ学習した内容を聞き直すと、また違う気づきがあるかもしれません。			
昼休み						
懇親会						
13:30-15:00	具志堅 敏	膜に対する評価とアプローチ	膜は第二の骨格とも言われており、この制限は姿勢の保持や円滑で機能的な・効率的な運動を制限する一因となります。この膜に対する評価やアプローチの考え方についてお話しします。	柿崎 藤泰	胸郭運動システムの再建法	肋骨に直接的、または間接的に関与する筋の活動によって肋骨の屈位は起こり、そのときに生じる肋骨の力作用により胸椎の配列に法的な変化を与え、脊柱自体の配列変化にいたり、姿勢や動作に変化が生じます。このような「胸郭運動システム」の存在は、上半身重心を効率よくコントロールするために使用できる運動器といえます。講習では、「胸郭運動システム」の概要と臨床応用について解説させていただきます。
15:10-16:40						

2013/8/2 (金曜日)

A コース

B コース

	教員名	テーマ	内容	教員名	テーマ	内容
9:20-10:50	西村 沙紀子	片脚スクワット動作の動作分析	片脚スクワット動作やカッピング動作の分析を前頭面運動、動作の男女差に注目して行い傷害との関連を考えていきます。	渡部 直子	バレエダンサーの運動機能障害について	バレエダンサーに起こりやすい下肢関節疾患の病態メカニズムを解説させていただきます。
				江戸 優裕	TKA の ROM 改善のための理学療法	TKAのデザインや術式を解説し、それに適合した膝関節運動を構築する運動療法を紹介いたします。
11:00-12:30	石田 行知	薬の副作用と理学療法	四肢の異常や体位安定性に影響をおよぼす薬がたくさんあります。特に薬の副作用により転倒の危険性が高まることは十分に考えられます。それらについて具体的な対応を紹介します。	大川 孝浩	足底に加わる力に関して	歩行時に加わる力(足圧・剪断力・フリーモーメント)に関するお話をさせていただきます。フリーモーメントは足圧中心点を貫く鉛直軸周りの回転トルクです。まだまだ研究段階ですのでみなさんと意見交換ができると幸いです。
昼休み						
13:30-15:00	中俣 修	運動療法に活用するため骨盤股関節周囲筋の触診	運動療法を行う際に観察される運動がどのような筋活動により行われているのか確認することは指導方法を検討するうえで重要です。今回いくつかの運動課題における骨盤股関節周囲筋の活動を触診により確認したいと思います。	福井 勉	皮膚テーピング	書籍「皮膚テーピング」が専売出版されます。それに基づき、講義をさせていただきます。テーピング(キネシオテープかそれに類するもの)のご用意だけ頂きますと助かります。上下肢関節可動域制御、筋力制御、姿勢制御用のテーピングを行わせて頂きます。
15:10-16:40						

2013/8/3 (土曜日)

A コース

B コース

	教員名	テーマ	内容	教員名	テーマ	内容
9:20-10:50	野部 裕美	創傷治癒における線維芽細胞の役割	傷の修復機構を解明するため、皮膚線維芽細胞を用いた研究についてお話しします。この細胞をコラーゲンと混和することにより、より生体に近い標本として生理学的な研究を行うことができます。この結果についてお話しします。	千代丸 正志	静止立位の動作分析	COPの動揺と関節や体節の角度変化の関係、併せて加齢が立位姿勢制御に与える影響についても検討いたします。
11:00-12:30	正保 哲	循環器疾患に対する理学療法	循環器患者に対する介入時のフジカルアセスメントについてお話しします。	上條 史子	片麻痺者に対する動作分析とアプローチ	片麻痺者の動作分析から評価・治療のポイントについて実技を含めて考えていきたいと思ひます。
昼休み						
13:30-15:00	望月 久	バランスの捉え方と評価	バランス障害は生活における安全性と結びついているため、理学療法にとっても重要な介入対象になっています。講義ではバランスについての考え方を整理し、その代表的な評価方法を紹介しつつ、バランス障害に対する理学療法について検討します。	山崎 敦	足関節・足部の機能解剖	本学では運動学を担当しており、理学療法における専門基礎分野としての解剖学、運動学に関する知見をお話できるかと思ひます。
15:10-16:40						